

科目名	外国史特講Ⅰ			担当教員	宮野 裕	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED3SWH403
期待される学修成果	教科教育 学校と社会					
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	中等教育教科書における外国史関連項目に関する精査					
授業の概要	中等教育教科書における外国史関連項目について、史料的根拠をチェックし、内容が正しいかどうかを確認し、そうした活動を通じて教科内容の理解を深める。 【デジタル技術利用】該当なし					

授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	古代文明のおこりと発展
第3回	ギリシャ・ローマの文明
第4回	朝鮮・隋・唐・宋
第5回	モンゴル帝国とユーラシア世界
第6回	ルネサンスと宗教改革
第7回	オランダの台頭
第8回	イギリスとアメリカの革命
第9回	ヨーロッパにおける国民意識の高まり
第10回	産業革命と資本主義
第11回	韓国と中国
第12回	ロシア革命
第13回	アジアの民族運動
第14回	欧米の情勢とファシズム
第15回	日中戦争と戦時体制

事前学修	2時間	提示された課題をこなし、プリントを作成
事後学修	2時間	授業の見直しをプリント作りで行うこと
フィードバックの方法	授業時に直接コメントをする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	100％	
定期試験	0％	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考

新しい社会 歴史（R7年改定版）	—	東京書籍	—	—
世界史資料集（所有していれば高校で使ったもの）	—	—	—	—
参考資料	教科書をご購入ください。ないと話になりません。高校で使った歴史総合、世界史探究の資料集はヒントになるので持っていてください。お持ちでなければ丸善等でご購入ください。 ほか、毎回プリントを沢山配布しますので、たくさん収納できるファイルがあるとベター。			

科目名	外国史特講 II			担当教員	福田 智美	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED4SWH404
期待される学修成果	教科教育 自己形成					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	① エリザベス期について概要を理解することができる。 ② 理解した授業内容を自分の言葉で表現することができる。 ③ 与えられたテーマについて調べることができる					
授業の概要	イングランドのテューダー朝、特にエリザベス期（1558－1603年）についてその概要を確認する。授業は毎回1つのトピックに沿って進むため時代は前後することがあるが、様々な観点から1つの時代を理解するスキルを磨く。 【デジタル技術利用 該当番号：③、④、⑧】＊⑧の詳細はレポート課題とともに公表する。					

授業計画	
第1回	「イギリス」の成り立ちと歴史の概要
第2回	テューダー朝史概説
第3回	テューダー朝の研究史概説
第4回	宗教改革～英国国教会の成立
第5回	エリザベス1世期の外交①：フランス、オランダ
第6回	エリザベス1世期の外交②：スペイン
第7回	エリザベス1世期の経済
第8回	エリザベス1世期の議会
第9回	エリザベス1世期の枢密院
第10回	エリザベス1世期の行財政機構
第11回	エリザベス1世期の文化
第12回	エリザベス1世の人生
第13回	女性史の観点から見るエリザベス1世期
第14回	エリザベス1世期の終焉～テューダー朝からスチュアート朝へ
第15回	まとめ

事前学修	2時間	次回の学習内容を確認する。
事後学修	2時間	授業内容、特に小テストの振り返りを行う。
フィードバックの方法	コメントペーパーで質問を受け付ける。よい質問は授業全体でフィードバックする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない。
レポート	40%	目標①、②、③に関係する。
上記以外の試験・平常点評価	30%	小テストを毎時間実施する
上記以外の試験・平常点評価	30%	コメントペーパー
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	授業中に指示する。			